

千葉セミナー参加申込方法

ウェブサイトからの参加登録、または、以下の項目をメールかFAXにて送付をお願いします。
ITコーディネータの方には、実践力ポイントを付与いたします。

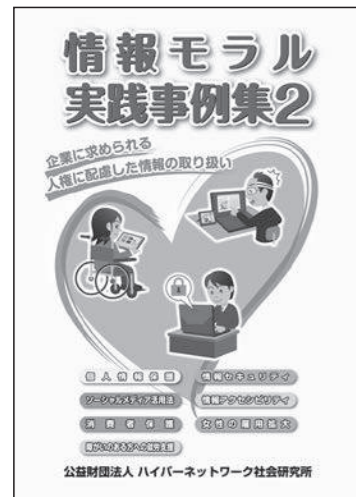
- ウェブサイトからお申し込みの場合… <http://www.j-moral.org/chiba/>
- メールにてお申し込みの場合…………… chiba-moral@hyper.or.jp
- FAXにてお申し込みの場合…………… **097-537-8820**



参加申込書

会社名	フリガナ		
所属・役職			
氏名	フリガナ		
お住まいの地域	都道府県	市区町村等	
■ ITコーディネータ資格保有について <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない			
■ 本セミナーをどの情報から知りましたか? (該当するものに○をつけてください。複数回答可)			
1. メールやメーリングリスト 2. チラシ 3. 会報 4. ウェブサイト 5. 新聞 6. SNS(ツイッター・フェイスブック等) 7. その他()			
■ 本セミナーをどの団体から紹介されましたか? (該当するものに○をつけてください。複数回答可)			
1. 中小企業庁 2. 関東経済産業局 3. (公財)ハイパーネットワーク社会研究所 4. 千葉県 5. 千葉市 6. (一社)千葉県商工会議所連合会 7. 千葉商工会議所 8. 千葉県商工会連合会 9. 千葉県中小企業団体中央会 10. (一社)千葉県経営者協会 11. 千葉県中小企業家同友会 12. 千葉県経済同友会 13. (公財)千葉県産業振興センター 14. (公財)千葉市産業振興財団 15. (一社)千葉IT経営センター 16. (特非)ちば経営応援隊 17. (独)情報処理推進機構 18. (特非)日本ネットワークセキュリティ協会 19. (公社)日本青年会議所 20. 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 21. ISACA東京支部 22. ISACA大阪支部 23. ISACA名古屋支部 24. ISACA福岡支部 25. (特非)ITコーディネータ協会 26. その他()			

※なお、収集した個人データは責任をもって安全に管理し、本研究所の研究活動のみに使用させていただきます。
ご不明な点、個人データに関する開示・訂正・苦情等がありましたら、下記お問い合わせ先までお願いします。



公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

現総務省・現経済産業省の認可を得て1993年に財団法人として大分県に設立。2013年4月1日、内閣総理大臣より公益認定を受け、公益財団法人へ移行。
よりよい情報社会をめざし、地域における情報基盤の構築や利活用についての調査研究、普及啓発、国際交流活動を推進。近年、情報化の進展につれて社会的に負の部分も増大したため、すべての人が安心してネットを利用できる社会の構築のための研究・実践活動に注力。平成15年より中小企業庁委託「情報モラル」普及啓発事業に取り組み、「インターネット安全教室」の活動も含め、平成18年経済産業省商務情報政策局長賞(情報セキュリティ促進部門)を受賞。また、情報セキュリティに関して、ネットトラブルの相談窓口を運用し、専門研究員による調査・研究活動を実施。海外調査や別府湾会議などの国際交流活動も積極的に推進している。

情報モラルの取り組み方を題材にしたパンフレット等の教材を進呈します!!

情報モラル啓発セミナー

企業に求められる情報モラルと人権への配慮

セミナー参加無料
ITC資格保有者へのポイント付与対象

インターネット社会と人権・情報アクセシビリティの効果的な進め方

Seminar 2015
千葉

日時 **平成27年10月6日(火)**
13:00~17:00

会場 **TKPガーデンシティ千葉(4F コンチェルト)**
千葉県千葉市中央区問屋町1-45ガンデオホテルズ千葉内



岡山セミナー(平成26年9月)

京都セミナー(平成26年12月)

主催 / 中小企業庁 関東経済産業局 (公財)ハイパーネットワーク社会研究所
 後援 / 千葉県 千葉市 (一社)千葉県商工会議所連合会 千葉商工会議所 千葉県商工会連合会 千葉県中小企業団体中央会 (一社)千葉県経営者協会 千葉県中小企業家同友会 千葉県経済同友会 (公財)千葉県産業振興センター (公財)千葉市産業振興財団 (一社)千葉IT経営センター (特非)ちば経営応援隊 (独)情報処理推進機構 (特非)日本ネットワークセキュリティ協会 (公社)日本青年会議所 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 ISACA東京支部 ISACA大阪支部 ISACA名古屋支部 ISACA福岡支部 (特非)ITコーディネータ協会 以上予定

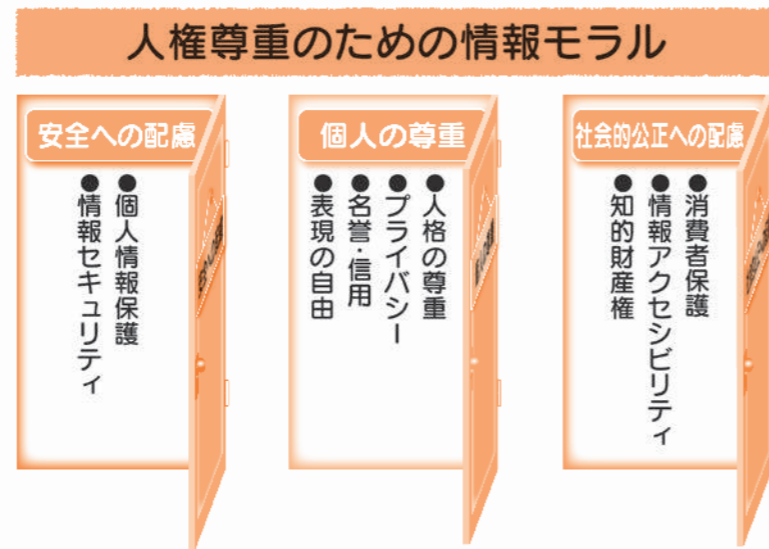
お問い合わせ先 **公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所** 担当:原田、式田
 〒870-0037 大分県大分市東春日町51-6 大分第2ソフィアプラザビル4F
 ☎097-537-8180 ☎097-537-8820 メール: moral@hyper.or.jp ウェブサイト: www.hyper.or.jp/

より高い情報モラル意識を求めて

近年、企業活動や社会生活においては、パソコンやスマートフォン等を通じたインターネットの利用が不可欠になっています。その反面、顧客情報の漏えい、誹謗中傷をはじめとする人権にかかわる問題が急増しています。企業や組織が、顧客や従業員の人権を守るためには、個人情報保護や情報セキュリティ、情報アクセシビリティについての対策を十分に講じることや情報を受け取る側の人権に配慮した情報発信・管理を推進することが、社会的責務となっています。

しかしながら、クラウドやソーシャルメディア、IoT (Internet of Things)などのIT利用が進む一方で、適切な対策を講じているつもりでも、思わぬトラブルに陥るケースも頻発しています。

本セミナーでは、企業や組織がより高い信頼を獲得し、効果的にITを活用するために、必要となる人権を尊重した情報モラルの確立について、経営トップをはじめ、社員すべての意識向上につながる考え方や取り組み方法を、予防・対処事例とともにご紹介いたします。



千葉会場 | 日時▶平成27年10月6日(火) 13:00~17:00
会場▶TKPガーデンシティ千葉(4F コンチェルト)
千葉県千葉市中央区問屋町1-45ガンデオホテルズ千葉内

- 公共交通機関をご利用の場合
 - 京成「千葉中央駅」より
 - ・徒歩9分
 - JR京葉線「千葉みなと駅」より
 - ・徒歩10分
 - ・小湊バス[千葉みなとループバス(左回り)約5分][ポートアリーナ]下車
 - JR総武線「千葉駅」より
 - ・タクシー 10分
 - ・千葉海浜交通(東口11番のりば)約10分[ポートアリーナ]下車
 - ・小湊バス[千葉みなとループバス(右回り)約10分][ポートアリーナ]下車
 - 千葉都市モノレールタウンライナー「市役所駅前」より
 - ・徒歩6分
- お車で越越しの場合
 - 東京方面から国道357号線、千葉都市モノレール下を右折、みなと公園交差点を左折、問屋町交差点を右折、2本目の通りを左折
 - 東京方面より
 - ・京葉道路 幕張I.C 約20分
 - ・東関東自動車道 湾岸習志野I.C 約20分
 - 成田方面より
 - ・宮野木JCT經由貝塚I.C 約20分
 - 東金方面より
 - ・千葉東I.C 約20分
 - 館山方面より
 - ・松ヶ丘I.C 約20分



参加費▶無料
定員▶200名程度
対象者▶企業の経営者、管理者、実務担当者、インターネットを活用する人
申込締切▶平成27年10月5日(月)

(先着順で受け付けます。定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。)
(定員に満たない場合は当日会場でも受け付けます。)

**2015年度
セミナー
ご案内**

【大分会場】	平成27年 9月 4日(金)	コンパルホール
【千葉会場】	平成27年10月 6日(火)	TKPガーデンシティ千葉
【福島会場】	平成27年11月12日(木)	ザ・セレクton福島
【石川会場】	平成27年12月11日(金)	北國新聞会館
【兵庫会場】	平成28年 1月14日(木)	神戸国際会議場
【徳島会場】	平成28年 2月 2日(火)	阿波観光ホテル

◆千葉会場プログラム

第一部 『人権と 情報モラル を理解する』

13:00 主催者挨拶

13:10
↓
13:40 **ビジュアルプレゼンテーション
「ネット社会の人権と情報モラル
～ネット社会の脅威 あなたの会社の対策は？」**

講師 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
内容 情報モラルに積極的に取り組む中小企業を描いたビデオ教材を用いて、「ネット社会の人権」と「情報モラル」の考え方、取組の重要性について、解説します。



13:40
↓
14:40 **講演1「インターネット社会と人権」**

講師 七條 麻衣子 氏(株式会社ラック サイバーグリッドジャパン サイバーグリッド研究所 客員研究員)
内容 インターネット社会における人権尊重の重要性、顧客情報漏えいや誹謗中傷をはじめとする人権侵害が発生した場合の被害の深刻性について、利用者の人権を守るために企業は何をすべきか、SNSの安心・安全な活用のための組織対応について、解説します。

14:40~14:50 休憩

14:50
↓
15:50 **講演2「人権に配慮したカラーユニバーサルデザインと
情報アクセシビリティ」**

講師 栗田 マサキ 氏 (NPO法人 北海道カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長)
内容 男性で20人に1人が色弱者と言われています。「多数派・少数派」の考え方の違いを認めることが、人権を尊重した豊かな社会づくりにつながります。ご自身が色弱であることからカラーユニバーサルデザインの活動に関わってこられ、ICTを活用した色弱者への配慮について、具体的な体験や取り組みについて解説します。

15:50
↓
16:30 **全体まとめ(パネルディスカッション)**

講師 七條 麻衣子・栗田 マサキ・青木 栄二
モデレーター 渡辺 律子
内容 会場からの質疑に解答するとともに、取り組みを推進するために必要な内容を中心に、セミナー内容全体のまとめ、ポイントの確認を行います。



アクション コーナー 『今すぐはじめる 情報モラル』

16:30
↓
17:00 **社内研修ワークショップ**

講師 青木 栄二・原田 美織
コメンテーター 七條 麻衣子、栗田 マサキ、渡辺 律子
内容 セミナーに参加された皆さまが、ご自身の組織内にセミナー内容を持ち帰って職場で研修を実施することや、より実践的な取り組みを進めることを目指して、ワークショップを行います。



◆講師プロフィール



七條 麻衣子

株式会社ラック
サイバーグリッドジャパン サイバーグリッド研究所 客員研究員
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員

大分県立芸術文化短期大学、および国立大学法人大分大学で非常勤講師等を経て、2009年6月より、ハイパーネットワーク社会研究所が運営するネットあんしんセンターにて、ネットトラブルに関する相談対応、中小企業や自治体等の情報セキュリティ対策支援に従事。2015年4月よりフリーランスとなる。大分県立芸術文化短期大学非常勤講師。大分市消費生活相談員。(ISC)第7回アジア太平洋情報セキュリティ・リーダーシップ・アチーブメント(ISLA)受賞。



栗田 マサキ

NPO法人 北海道カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長

北海道大学金属工学科大学院中退、早稲田大学建築学科編入学、大学院修了、建築設計事務所、ハウスメーカー、IT企業、アニメプロダクションなどを経て、有限会社ソノーク設立。北海道科学大学客員教授、色弱のデザイナー・アーティスト・CG製作者。1996年目黒雅叙園アートプライズ大賞受賞。著書に「色弱の子を持つすべての人へー20人にひとりの遺伝子」など。



青木 栄二

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 専務理事・副所長

2000年電気通信事業者からハイパーネットワーク社会研究所へ主任研究員として出向派遣。PFIによる大分データセンター設立プロジェクトや民学官による地域X構築プロジェクト等、電子自治体や地域情報化を推進。2006年からは事務局長として、2013年4月に公益財団法人へ移行後は専務理事として財団運営に携わる。最近では、農業の情報化や教育の情報化、国際ネットワークの構築等について活動中。



渡辺 律子

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 副所長

子どものネット利用にかかわる問題に対し、2002年より子どもや教員、保護者に向けた情報モラルの研究・普及啓発を始める。その後、企業の情報モラルに係る普及啓発事業に10年以上携わり、インターネット社会における情報モラルの知見を有する。また、教育の情報化に関する調査研究を専門とし、5年前から大分県教育庁財務課情報化推進班に所属、教育情報化ファシリテーターを務める。